

「東京科学大学献体の会」会員ならびにご関係の皆さまへ

臨床解剖学分野では、以下の研究を行っております。皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

研究課題名：膵臓の神経と微小血管に関する解剖学的研究

東京科学大学医学系倫理委員会承認番号：第 M2019-070 番

研究実施期間：研究実施許可日から西暦 2029 年 3 月 31 日まで

研究目的：

膵臓には多くの神経や血管が分布しており、膵癌の手術ではそれらの神経や血管を切断して癌を含む組織を切除します。近年、内視鏡手術の発展により詳細な手術視野が得られるようになり、従来肉眼では視認が難しかった神経線維や微小血管も視認することが可能となってきました。そのため、従来以上に詳細な解剖学的な知見が求められていますが、それらの構造は未だ十分に明らかになっていません。

膵臓周囲の神経線維や微小血管の構造の詳細が明らかになれば、手術の安全性の向上や、術式の更なる発展に貢献できると考えます。本研究の目的は、膵臓に分布する神経線維や微小血管の構造と配置を明らかにし、膵臓癌に対する手術の発展に寄与する解剖学的基盤を構築することです。

研究の対象：

本研究で用いる解剖体は、すべて生前に「東京科学大学献体の会」に入会された方のご遺体です。その尊いご遺志に深く感謝するとともに、医学、歯学の教育ならびに研究に用いるという献体法（医学及び歯学の教育のために献体に関する法律）ならびに死体解剖保存法を遵守して行って参ります。また、研究の実施に当たっては、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」および日本解剖学会が定めた「解剖体を用いた研究についての考え方と実施に関するガイドライン」に従って行います。

研究の内容：

本学臨床解剖学講座にて保存されている解剖体を用いて、膵臓に分布する神経や血管を観察します。組織標本を作製し、微細な構造を調査します。染色方法としては EVG 染色、Masson Trichrome 染色に加え、

抗神経抗体を用いた免疫染色を行い、神経線維を明確に検出します。この研究が膵臓に分布する神経と血管の微細構造の解明に繋がり、膵癌に対する手術の安全性向上に貢献できると考えています。

研究実施期間は研究実施許可日から西暦 2029 年 3 月 31 日までになります。この研究により一定の成果がえられた場合には、その結果を学会や論文で発表しますが、写真閲覧時に匿名化を行い、解剖体の個人を特定できる情報は使用いたしません。登録解剖体の同定や照会は、登録時に発行される登録番号を用いて行います。登録にあたっては、識別番号を設定し、連結可能匿名化を行います。参照した画像等は、匿名化の後、臨床解剖学医局にて 10 年間厳重に保管し、研究終了後に適切に扱わせていただきます。

本研究は大学の運営費を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、利益相反委員会に申告を行い、承認されています。またデータを二次的に利用する場合は新たな研究計画を立案し医学系倫理審査委員会で承認された後、改めて HP 上でお知らせいたします。

なお、本研究に関してお問い合わせのある場合、下記宛先までご連絡ください。また、研究の途中であっても、解剖体の使用あるいは得られたデータの使用をお断りになる場合には直ちに本研究の対象から除外します。その場合にも故人および関係者の皆様の不利益となることは一切ありませんので、ご遠慮なくお申し出ください。

研究責任者：東京科学大学大学院 臨床解剖学分野 室生暁

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

電話：03-5803- 5390（対応可能時間帯 平日 9:00～17:00）

苦情・相談窓口：

東京科学大学 研究推進部 研究基盤推進課 生命倫理グループ

03-5803-4547（対応可能時間帯 平日 9:00-17:00）